

地震・防災フォーラム in よこはま

～地震へのそなえと「町の防災組織」の事例発表～

日時

平成30年 2月17日（土）

〔開場・受付開始〕 12:30 〔開会〕 13:00 〔閉会〕 17:10

場所

開港記念会館（定員 480名）

入場無料（事前申し込み必要）

- 日本は、世界有数の「地震活動が活発な地域」であり、地震が発生しない地域はありません。世界の地震の2割は日本周辺で発生しています。
- ハード対策のみにより都市を自然災害から守りきることは難しいですが、人が災害に強くなることは可能です。地震から家族と財産を守り、地域の被害を最小限に抑え、被災後に速やかな復興をはかるためには、横浜市民一人一人がどのように備えて、どのように行動していくかが、災害に強い横浜を構築する鍵となります。
- この防災フォーラムは、災害を「わが事として」認識し、適切に備え、行動していく横浜市民と防災リーダーのための大切な知恵を学ぶ機会とするものです。

1 プログラム

開会挨拶 あらい 荒井 まもる 守 （横浜市危機管理監）

（第一部）「町の防災組織」事例発表会（13:05～14:25）

平成26年度から実施している「防災・減災推進研修」を受講した町の防災組織の中から4団体が、研修受講後に始めた取組について発表します。発表団体の抱える課題に対して、専門家がアドバイスをします。

【事例発表団体】

- ・本郷町三丁目第一町内会
- ・さざなみ団地第一住宅自治会
- ・前田ハイツ自治会
- ・サンステージ緑園都市西の街管理組合



（休憩 14:25～14:35）

(第二部) 地震防災企画セミナー (14:35~17:10)

≪講演≫ 14:35 ~ 15:05

災害前に備えるべき自助・共助の取り組みとは

【講演者】 ^{むろさき}室崎 ^{よしてる}益輝 氏 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授)

≪講演≫ 15:05 ~ 15:25

自助・共助への力としての「地震保険の機能と役割」

【講演者】 ^{しのだ}篠田 ^{しょういち}正一 氏 (日本損害保険協会 神奈川損保会会長)

(休憩 15:25 ~ 15:35)

≪パネルディスカッション≫ 15:35 ~ 17:10

災害リスク世界一の大都市横浜、事前にこれだけは備えなければならない未達の課題は？

【コーディネーター】 ^{やまざき}山崎 ^{のぼる}登 氏 (国土舘大学防災・救急救助総合研究所 教授)

【パネリスト】 室崎 益輝 氏 (前掲)

^{たかはし}高橋 ^{みつる}満 氏
(都筑区牛久保東町町内会 総務部副部長 兼 町の組織総務班長)

^{しみず}清水 ^{やすえ}靖枝 氏 (瀬谷区谷戸自治会 事務局長)

^{うだがわ}宇田川 ^{ともひろ}智弘 氏 (日本損害保険協会 業務企画部長)

荒井 守 (前掲)

2 申し込み方法

以下の書類に、必要事項をご記入のうえ、郵送、FAXまたは電子メールにて、2月9日(金)までに、以下の宛先にお申し込みください。※手話通訳が必要な場合は、お申し出ください。

●「事例発表会・セミナー 申込書」(別紙)

【宛先】

郵送：〒231-0017

横浜市中区港町1-1

横浜市総務局 危機管理課 花塚・茂木

FAX：045-641-1677

メール：so-gensai@city.yokohama.jp

※電子ファイルはホームページからダウンロードできます

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/kyojo.docx>

3 参加者の決定

申込が定員（480名）を超えた場合、抽選のうえ、参加ができない場合のみ、2月14日（水）までに参加不可の通知をお送りします。

4 お問い合わせ

事例発表会・講演会の内容に関してのお問い合わせがありましたら、電話またはEメールでご連絡ください。

総務局危機管理課

担当 花塚・茂木 電話：045-671-4351 Eメール：so-gensai@city.yokohama.jp

5 会場案内図

住所：横浜市中区本町1丁目6番地

開港記念会館

鉄道：

- ①JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩10分
- ②市営地下鉄線「関内駅」1番出口から徒歩10分
- ③みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩1分

※ ご参加の際は、公共交通機関をご利用ください。



《主催》 ・横浜市総務局 ・一般社団法人 日本損害保険協会

【講演者、パネルディスカッション出演者の略歴】



むろさき よしてる
室崎 益輝 氏

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授

1944年生まれ。兵庫県出身。1987年10月神戸大学工学部教授、1998年4月神戸大学都市安全研究センター教授、2004年4月独立行政法人消防研究所理事長、2008年4月関西学院大学総合政策学部教授を経て、2017年より現職。神戸大学名誉教授。



しのだ しょういち
篠田 正一 氏

一般社団法人日本損害保険協会 神奈川損保会会長
(三井住友海上火災保険株式会社 横浜支店長)

1962年生まれ。東京都出身。1986年大正海上火災株式会社（現在の三井住友海上火災保険株式会社）に入社。損害保険の法人営業部門、ロンドン駐在等を経て、2016年より現職。



やまざき のぼる
山崎 登 氏

国土舘大学防災・救急救助総合研究所 教授

1954年生まれ。長野県出身。1976年NHK入局、2000年NHK解説委員（自然災害・防災担当）、2009年NHK解説委員室解説副委員長、2011年関西大学社会安全学部客員教授、2012年NHK解説委員室解説主幹（自然災害、防災、消防、救急担当）、2014年東京理科大学国際火災科学研究科客員教授、2017年静岡大学防災総合センター客員教授、2017年10月より現職。

平成 年 月 日

自治会・町内会等団体名 _____

ふりがな
名 前 _____

住 所 _____

電 話 _____

「地震・防災フォーラム in よこはま」申込書

複数名で参加希望の方は下記に参加予定人数を記載してください。

参加予定人数
人

- ・ 2月9日までにご送付ください。
- ・ 最大6名様まで申込可能です。

【申込み先】

郵送：〒231-0017

横浜市中区港町1-1

横浜市総務局 危機管理課 花塚・茂木

FAX：641-1677

メール：so-gensai@city.yokohama.jp

※電子ファイルはホームページからダウンロードできます

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/kyojo.docx>

研修の申込みにあたり収集する氏名、電話番号、住所の個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い、適正に管理し、研修の中止等事務局から連絡の必要が生じた場合にのみ利用します。

問い合わせ先 総務局危機管理課

電話：045-671-4351